

KiPro GO2 簡易セットアップガイド

2026年2月17日
株式会社フォトロン
映像システム事業本部
ディストリビューションPJ

本マニュアルは初めてKiProGO2の取扱いを行う事を想定し作成しています。
取扱い前にご確認の上、ご準備をお願いいたします。

機能概要

HD-SDIをH.264/H.265で収録するレコーダーで、1chの簡易再生機能も備えています。

同梱物

KiPro GO2貸出機セットには、以下が同梱されています。

- KiPro GO2 本体x 1
- 電源ケーブル x 1本
- 本セットアップガイド

《ご留意点》

以下URLに掲載されている**評価済メディア**のご用意をお願い致します。

<https://www.aja.com/products/ki-pro-go#support>.

AJA_Ki_Pro_GO_Series_Approved_Media_Guide_

フォーマット方法

exFATを奨励します（FAT32,FAT16のファイルサイズの制限を考慮）

以下に各Menuについてよくあるご質問・ルールをまとめています。

①Config

Encode Channels（Single Channel / Multi Channel）

収録チャンネルと再生チャンネル数について

Q.収録、Playbackともに4チャンネルですか？

A.収録は最大4チャンネルを、再生チャンネルは1ファイルのみの再生をサポートします。

収録と再生

Q.収録と同時に再生は可能でしょうか？

A.収録もしくは再生は可能ですが、収録と再生を同時に行なう事はできません。

マルチチャンネル収録モードについて

Q.異なるフレームレートの収録は可能ですか？

A. 非サポートです。全チャンネル同じフレームレートである必要があります。

Q.ゲンロックは必要でしょうか？

A.不要です。（KiPro GO2は内部FSが実装されているため）その為、非同期信号の収録も可能です。

収録時の入力チャンネル

連続している必要があります。

- 例) ○ 1チャンネルと2チャンネルでの同時収録
× 1チャンネルと3チャンネルでの同時収録

3G収録の際のご留意点

全チャンネルの“Level”を合わせて下さい（Level A / Level B）

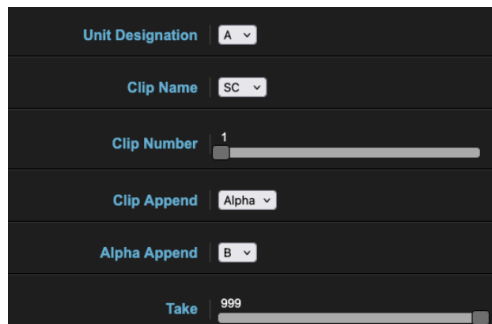
■Media

Q. 外部メディアへの収録は可能ですか？

A.PAKメディアへの収録のみをサポートします。高帯域と安定性を考慮し、PAKメディアが必須です。（ご参考情報：高ビットレートファイルの場合、4Gb/s～となります）

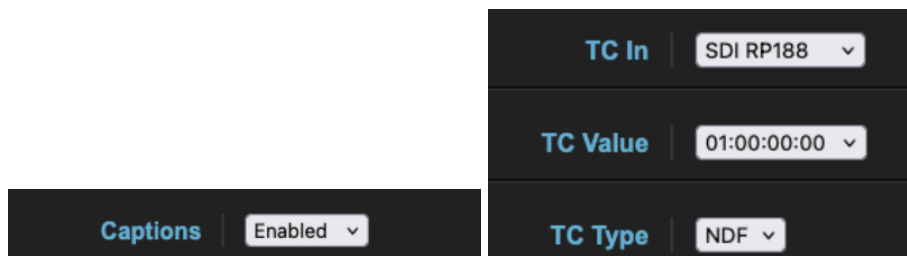
《ご留意点》 クリップ名

999以上のインクリメントには対応していません。（クリップの上書も行なわれません）
回避策：クリップ名の変更をお願いします。その際、Takeも1へリセットされます。



キャプション

キャプションデータのみが収録されます。デフォルトは「有効」です。
タイムコードソースとして選択されている場合、エンベデッドタイムコードが使用されます
SCTE-104トリガーなど、他の種類のANCは破棄されます



■Network

- 必要に応じKiPro本体とPCをLAN配線する事で設定及び操作を行なう事も可能です。
- Ki Pro GO2は外部制御用にREST APIに対応しています。

KiPro GO2のIPアドレスに **/rest.tmpl** を追加するとアクセスが可能です

例 **http://192.168.0.177/rest.tmpl**

なお、APIドキュメントは以下に公開されています。 https://gitlab.aja.com/pub/rest_api

■その他

想定よりも早く収録が停止してしまうケース

収録を正しく行なう設定があるため、以下理由で収録が想定よりも早く停止することがあります。

- 映像信号の途切れ

録画を停止する、または停止しないように設定が可能です。

- 「TC/REC Key」が有効になっている場合

タイムコードの中断により録画が停止することがあります。

-タイムコードが変化するのを待って収録を開始します。

タイムコードが停止すると、収録も停止します。

-メディア容量

残り10%になると、収録が停止します。

プレイリスト

- 選択した複数クリップの連続再生が必要な際、プレイリストの設定が可能です。
- アクティブになっているコーデックを使用しているクリップをプレイリストの一部にできます。互換性のないクリップは黄色で表示されます。

《ご留意点》 H.264 ファイルの互換性

Ki Proで使用可能なファイルについて

Ki Pro GO2 は、一般的なサードパーティ製アプリケーションで作成された H.264 ファイルの再生が可能です。この機能は、以下のアプリケーションでテストされています。

- DaVinci Resolve
- Final Cut Pro X
- Avid Media Composer
- Adobe Premiere
- VLC (Windows)
- VLC (Macintosh)

＊VLCファイルの拡張子は「MV4」から「mp4」に変更する必要があります。

その他アプリケーションでも Ki Pro GO2 で再生できるファイルを生成できる場合がありますが、AJA は上記のアプリケーションでのみテストしています。他のアプリケーションで作成されたメディアファイルの再生は本日現在、保証されていません。

＊KiPro Go マニュアルより抜粋

《制限事項》 クワッドリンクの素材を再生

- 再生時、シングルリンクSDI / マルチリンクSDIのどちらを使用するか設定します。
 - シングルリンクモードを使用する場合、全出力に再生信号の完全なコピーが含まれます。
 - マルチリンクモードを使用する場合、最初の出力にのみ音声/ANCが含まれます。
- 例) Square Division UHDの場合、SDI 1が音声+ANCを含む完全な1080p信号となります



初期設定及びファームアップデート

1. 現在の設定のプリセットを保存します
2. プリセットメニュー中の「Factory Settings」のResetをクリックします。
3. セーフブートモードで起動します
 1. Ki Pro の電源を切ります
 2. ユニットの電源を入れる際に Status ボタンを押したまま、セーフブートに入ります
4. 最新のファームウェアをダウンロード、アップデートを実行します
(同じバージョンであっても同様の手順を踏みます)
5. 必要に応じてデバイスの再設定を行ないます

プリセットを復元し問題が再発する場合は、手順 2 と 5 を繰り返して再設定します。

■問い合わせ先

本マニュアルについてご不明な点は以下サポートポータルにてお問い合わせ下さい。
aja@photron.co.jp

改定履歴

2025年12月4日	h.264ファイルアプリケーション追加
2026年2月17日	問い合わせ先を更新